

くすのき

～ 運動会の応援 ありがとうございました ～

今年度の運動会はいかがでしたでしょうか。運動会の練習が始まった途端に気温と湿度が高くなり、新型コロナウイルス感染対策と熱中症の手立てをしながらの練習でした。これから、さらに暑さが増し、熱中症の危険度が高まります。また、大雨により警報が発令されたり、光化学スモッグの予報・注意報が発令されたりして、何かにつけ、天候に振り回されることがここ数年増えてきたように思います。しかし、そんな中でも子どもたちは日々練習を頑張ってくれました。また当日も、猛暑の中、練習の成果を十分に発揮してくれたと思います。やりきった後の子どもたちの表情から充実感、達成感がうかがえました。さらに、どの演技についても、みなさんのあたたかいご声援により、子どもたちのプラスアルファの力が出ていたように思います。厳しい暑さの中、本当にありがとうございました。

去年は保護者の方をお迎えして実施できなかった運動会。本年度はコロナ禍にあっても保護者入れ替え制、人数制限等の方法で、安全面を第一に考え運動会を実施しました。保護者の皆様にはご不便をおかけしたことと思いますが、お陰様で大きな怪我もなく安全で充実した運動会になったのではないかと思います。ご協力いただきありがとうございました。今回の運動会の成果と課題を今後の教育活動に繋げてまいりたいと思います。

最後に、子どもたちは本当によくがんばりました。お子様をたくさんたくさん褒めてあげてください。これからの大きな力になるはずです。



～ 子どもが忘れものをした時に ～

筆箱、箸箱、体操服、エプロン…などの忘れ物を、子どもたちが登校してから保護者の皆様が見つかることがあります。そして、学校に届けてくださいます。「困っているだろうな」「先生に叱られないかな」「担任の先生に迷惑をかけたくない」などの保護者の皆様の思いやりの心が、子どもの忘れ物を届ける行動につながります。ただ、ここで一考してみてください。子どもは、失敗からも学んで育つのです。筆箱、箸箱、エプロン…忘れて困る経験、「しまった」と思う経験、叱られた経験、こういった経験を通して子どもは学び成長します。わかっているけれどあえて届けないことも必要です。保護者としてもつらいところでしょう。しかし、このところを担任と保護者が共に理解し、協力することで子どもの成長につながると考えます。

さて、これから水泳の学習が始まります。熱中症予防のために水筒を必ず持たせていただきたいのですが、忘れてしまうこともあります。水筒や飲まなければいけない薬など、健康上の理由から子どもに絶対に必要な忘れ物については、必ず届けてください。

わたしたち教師は、子どもの安全を第一に、その上で子どものためになる指導を心がけていきます。

～ お知らせ ～

お子様が欠席する場合は、必ず登校班の児童にも知らせてください。夏冬の厳しい暑さ寒さの中、集合場所で待ち続けることがしばしばあります。よろしくお願いします。

6月の行事予定

- 1日(水) 体重測定1・5年 3年環境体験学習 チャレンジクラブ(囲碁・キンボール)
- 2日(木) 内科健診(4・5・6年) 腎臓二次健診 3年環境体験学習
- 3日(金) 体重測定2年 校外学習6年
- 6日(月) リモート朝会 委員会活動 諸費振替日① スポーツテスト週間(～10日)
- 7日(火) 2年町たんけん 5年歯磨き大会 6年プール清掃 スクールソーシャルワーカー来校
- 8日(水) 体重測定4年 代表委員会 チャレンジクラブ(囲碁・相撲)
- 9日(木) 歯科健診1・6年 プール清掃予備日
- 10日(金) 体重測定6年 3年校外学習 ※12日(日)市長・市議選挙
- 13日(月) 3年生以上6校時まで 体重測定3年 班長会議 校内安全点検日
- 14日(火) 6年個人写真撮影 スクールソーシャルワーカー来校
- 15日(水) 授業参観5校時(大野・西大野・美乃利) 引き渡し訓練
- 16日(木) 授業参観5校時(中津・河原) 引き渡し訓練
- 20日(月) 3年生以上6校時まで 水泳指導開始(プール開き)
- 21日(火) スクールソーシャルワーカー来校
- 22日(水) チャレンジクラブ(囲碁・キンボール)
- 23日(木) 交通安全講習1・3年 スクールカウンセラー来校
- 27日(月) クラブ活動
- 28日(火) スクールソーシャルワーカー来校



【7月の主な行事予定】

- 7/4 委員会活動 7/5 諸費振替(1回のみ) 7/9 PTA廃品回収(予備日:7/16)
- 7/11 クラブ活動 7/18 海の日 7/20 給食終了 インターネットトラブル防止講座
- 7/21 3校時まで 地区児童会 一斉下校11:45 7/22 終業式
- 7/25 夏季休業日(～8/31) 7/25・26・27 個人懇談会

※新型コロナウイルス感染状況等により、変更・中止することがあります。ご了承ください。

～ 体験活動と子どもたちの成長 ～

「聞いたことは忘れる、見たことは覚える、やったことはわかる」と言われます。これは、中国の荀子「聞かないことは聞くに及ばず、聞くことは見ることに及ばない、また見ることは理解することに及ばない。しかし理解することは、それを実践することに及ばない。したがって、学問は実践の段階にまで至って終わるのである」から来ています。体験活動の大切さ、また実践できる力を養うことの大切さをよく言い表していると思います。

体験にはさまざまなものがあります。自然体験、社会体験、奉仕活動体験…。学校生活の毎日にも新たな体験活動があります。休み時間に友だちと遊ぶこと、給食の準備をし一緒に食べること、掃除の時間に教室や学校のいろんな場所を綺麗にすること。まさに毎日が体験活動であり、その中で子どもたちは人間として必要なことを学び成長します。今、求められているのは学んだことをもとに、自分で考え、創造し、実践していく力です。コロナ禍の中、リモートの便利さがもてはやされますが、私たち教職員は体験活動が子どもたちの成長に果たしてきた役割をしっかりと念頭に置き、不易と流行の不易の部分がおろそかにならないよう、今まで学校教育が果たしてきた役割もしっかり担いながら教育活動を展開していきたいと思ひます。

